

第100回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年12月7日(火) 9:25~9:45	場所	第一会議室
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、梅原企画政策課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、石原健康課長、宮奈地域安全課長、廣田広報秘書課長、穂山地域安全係長			
付議事項	1 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等 2 給付金交付事業について 3 各部連絡事項			
資料	・新型コロナウイルスワクチンの接種状況等			
(進行：福祉保健部長) (市長) ・新型コロナウイルス感染症の感染状況について、新たな脅威となっているオミクロン株の感染が国内で3例確認されている。市内の感染状況は落ち着いているが、引き続き基本的対策を徹底するとともに、市民への感染拡大防止、感染予防について周知をしていく必要がある。 ・3回目のワクチン接種について、当初8か月経過した方から接種するという方針だったが、間隔を前倒しすると首相が表明している。接種券の発送や会場準備等、前倒しに備えた準備をし、接種を希望する方々への接種を実現させたい。  1 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等 (新型コロナウイルス感染症対策担当課長) 資料を基に説明 ・初回回数について、高齢者の2回目より多くなっているのは、転出入やVRSの入力状態によるものと思われる。 ・接種間隔の前倒しについて、12月中に発送する接種券の数が多く、印本費の流用が必要となる。予約受付について、ワクチンの届く時期が未定なため、日時がはっきり決められない状況。 ・市内には現在モデルナワクチンがなく、最速でも予約受付は1月以降になる見込み。 ・大規模接種会場についても、開始日を当初の見込みから前倒す必要がある。 ・5~11歳接種について、医師会と協議の結果、集団接種のみ行う予定。1月に接種券配布、2月に接種開始予定。  2 給付金交付事業について (企画政策課長)				

- ・先日、国主催の説明会が開催された。内容は、「子育て世代への臨時特別給付金」及び「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」について。本日正午までに内容に関する質問及び担当部署の報告が求められている。

(福祉保健部長)

- ・本市の組織機構図に鑑み、子育て世代への給付金は子ども家庭部、住民税非課税世帯等への給付金は福祉保健部が担当部署として回答して問題ないでしょうか。

(市長)

- ・その2部でお願いします。

(福祉保健部長)

- ・担当となる各部局においては相当な負荷がかかるため、人的体制含めた組織的な応援をお願いすることもあると思うが、ご協力をお願いします。

### 3 各部連絡事項

(健康課長)

- ・圏域内の感染状況について、圏域内の感染症を取り扱う5院で、新型コロナウイルス感染症の入院患者がいるのは武蔵野赤十字のみ。各市とも年末年始にかけて警戒態勢を敷いていく姿勢とのこと。

(市長)

- ・酸素ステーションは今後も継続していくのか？

(健康課長)

- ・継続していくとのこと。

(以上)